

電話はなくても構わないが(おいおい),自宅のインターネット環境はやはり必要.それには電話回線もやっぱり引かなくては.というわけで,自宅の電話とネット環境に関するレポート.

2005.8.22 更新 解約手続き追加

みかか

どうやら日本で言うところの NTT が T-Com と書かれる Deutsch Telekom のようだ.(T-comではない)カールスルーエでは,Europaplatz の交差点第一象限にある建物に,Telekom が入っている.T-Punkt(T-ポイントと読む)と呼ばれる.下の写真はその外観.ここで12月20日 契約申込をした.

気になる料金は

パンフレットを読むと,基本的な電話回線プランは T-Net:15.66E/月で,他に土日かけ放題の T-Net xxl:24.94E/月や,決まった時間だけ通話料金が安くなるプランなど,色々ある.また,DSL を使うには,1M のサービスである T-DSL1000 に対しては 16.99E,2M のサービスである T-DSL2000 に対しては 19.99E 必要.(DSL の工事費用として 99 ユーロちょっとかかる.)

これに加えて,プロバイダ契約も当然必要.他の会社のサービスを使っても当然 OK だが,日本の OCN のように Telekom も自前で T-Online と呼ばれるサービスを用意している.

この料金設定は簡単に書くと以下の通り

- ・ 時間制 (Zeit-Tarife)
 - ・ 30 時間で 9.95E
 - ・ 60 時間で 16.95E
- ・ データ量制 (Volumen-Tarife)
 - ・ 1500MB までの通信で 9.95E
 - ・ 3000MB までの通信で 16.95E
 - ・ 6000MB までの通信で 24.95E
- ・ 使い放題 (Pauschal-Tarife)
 - ・ T-DSL1000 に対応したプランで 29.95E
 - ・ T-DSL2000 に対応したプランで 39.95E
 - ・ T-DSL3000 に対応したプランで 49.95E

普通にメールやネットサーフィンをゆっくり楽しみたい場合は,1500MB までの Volumen-Tarife プランで十分だと思われる.その場合は

- ・ 月額 15.66(回線料金)+16.99(T-DSL1000)+9.95=42.6 ユーロ必要.

我が家も最初これにしようと思っていたのだが,実家の両親と自宅とでビデオチャットをすると,すぐに 1.5G は超えそう.そこで高額だがフラットレートで契約することにした.結果,

- ・ 15.66+16.99+29.95=62.6E(約 9000 円)のプランにすることにした.

工事費用も込みで、9ヶ月間で約 10 万円って感じになる。

支払いについて

1 回情報を得に来店した時はクレジットカード払い OK ,とっていたのに、契約時に聞くと銀行振り込みなら大丈夫だがカード払いはダメ、という。まあ銀行に行く手間だけなのでよしとしよう。もちろんローカル銀行口座を作れば引き落としは可能だが、9ヶ月という微妙な期間なので銀行口座作成は悩むところだ(結局 SparKasse に開設: 銀行に関するレポート)。また、解約に関しては、6 日前に来て欲しいと言っていた。逆に開通に必要なのも 6 営業日らしく、12/20 に契約して、開通は 28 日以降だということだった。年末ギリギリだ。

モデム

モデムはその場で手渡し。スプリッタは郵送で来るそう。モデム郵送も可能だが、その場合は郵送料が必要よ、ということなのでその場で受け取った。「下の階で Bill して渡す」と言うのでひょっとして値段がついてるのか? と思ったが「0 ユーロ」。ドイツでは一般的にレシートが保証書代わり(もしくはレシートと保証書とペアじゃないと無効)なので、とにかくレジを通さないとダメなようだ。このモデムは、レンタルではなく買い取りらしく、解約時にモデムを持ってくるのか、の問いには「売るなり持って帰るなり自由にしていよいよ」とのことだった。持ち帰ったモデムを開けると内容物は、モデム本体、AC アダプタ、黒いイーサケーブル 2 本、説明書(ドイツ語のみ)。下の写真はその内容物とモデム背面。

また、モデムとは別に、ワイヤレス LAN 機能付ルータも 29 ユーロでその場で売っていた。ワイヤードポートは 1 個で、あとのクライアントは WLAN で、というモノらしい。

その他のプロバイダ

勿論そのほかにも安そうなサービスは新聞や Web で見かける。versatel などはその代表的なもので、2Mbps のサービスの使い放題プランを 39.99 ユーロで提供していたりする。ただし、こういった商品は大概 24ヶ月契約や 12ヶ月契約を前提としているものが多いらしく、今回は見送ることにした。よく読んでいないのでわからないが、IP 電話的なサービスもあるかと思われるので、長期滞在する方には向いていると思われる。

開通までの長い道のり

...さて、契約をしたのが 12 月 20 日(月)。上記文面もその頃にした。その後、年末までには全て揃うと思われたが、大晦日までに何の連絡もなし。

1 月 1 日(土)

再度 T-Punkt を訪れると、なんと以前の入居者が解約していつてないので動けない、とのこと。「え?」もうその人は住んでいないことは明らかなのに、何を手間取っているのだろう。しかも「再度その人に連絡をとってみてから」みたいなことを言う。おいおい。大家さんだって住所は知らんって言ってたぞ。それに今住んでるこっちの身はどうなる?

というわけで温和な日本人は渋々融通の利かない会社を後にする。

1 月 15 日(土)

そして待つこと 2 週間。3 度目の訪問。どうやらこの時点で「こっちから動かないと何もしてく

れない電話会社」は、ようやく契約を打ち込んだらしく、「1週間後に工事が終わって郵送される」などとのたまう。

1月21日(金)

ようやく電話が開通した旨の郵便通知と、電話連絡がある。しかしADSLについては、なくてもいいCD-ROMと説明書だけが送られてきて、スプリッタはどこにも見当たらない。更に電話の契約は意図しないプランになっていた...ふう。

1月24日(月)

昼休みに契約変更の文句を言い再度出かける。スプリッタのことを聞くと、28日に着くという。それって21日の1週間後じゃないか。結局5週間以上かかっていることになる。しかしこれも本当に着くのかすごく心配だったり。

1月28日(金)

やっぱり届かない。

1月31日(月)

自宅にT-comの人がやってきて何やら作業をしていった、とカミさんから報告あり。しかし主に地下室などを見て行き、何の作業なのかはまったく説明なし。後日大家さんに聞くと、「地震(2004.11頃あったそうだ)の影響の復旧」だったと言う。謎。

2月2日(水)

電話契約変更手続終了の知らせが送られてくる。「あなたの1/31の申し出により2/1から変更」とある。うーむ。T-com側の入力ミスなのにやはり6営業日必要なのか?それとも月末にしか変更できないのだからか?

2月3日(木)

朝イチでT-Punktへ5度目の訪問。今回はこれまでの経緯を(つたないドイツ語で)紙に書いて乗り込む。「6週間以上待ってる」とも書いてみた。結果、担当者は理解してくれたらしく、データベースをいじくること5分あまり。奥から別の男性が出てきたりして「スプリッタは1/31に発送された」、との回答。

同日昼休み、自宅から「スプリッタが届いた」との電話があった。ああ~長かった。申し込み日から数えて45日目にしてよ・う・や・くGET。

2月4日(金)

スプリッタ経由でDSLモデムと30ユーロ弱で買ったルータを接続。何故かルータのDHCPがデフォルトOFFになっていたのでPC側プライベートアドレス指定で設定しなおす。しかしユーザ名とパスを入れてもPPPoEがうまく働かず、WAN側IPが取れない。仕方なく送られてきたCD-ROMの怪しげな接続ソフトを入れて、直接接続を試みる。しかしこのソフト、OSがドイツ語版じゃないとインストールがストップする。(XPだと大丈夫なようだがWin2000は受け付けられないようだ。)

2月5日(土)

土曜は10時から営業しているT-Punktへ6度目の訪問。ソフトウェアの件の文句を言うと、ひとつ古いバージョンを郵送するという。「It takes 2 days」むむむ。ついでに「普通の」PPPoEの件も尋ねるが、「私は売るだけの人間なので技術的なことはわからない」と言われた。

その足で大学に寄り、「T-Online PPPoE」で検索するとなんと BSD の日本語解説ページ がヒット。自己解決。申込後 47 日目にしてようやく DSL 開通となった。一応結論をメモしておくとして、「T-Online を普通の PPPoE で接続する場合、ログイン名は "Anschlusskennung,T-Online Nr, Mitbenutzer-Nummer をぜーんぶつなぎ合わせたものであり、更に DSL の場合は @t-online.de を末尾につける」ということであった。ユーザー名が激長！

2月12日(土)

快適ネット生活を送って1週間。忘れた頃に例の「古いバージョン」T-Online4.0 が家に届いた。「...って、2日って言ったじゃん」みたいな。もう開通してるからいいようなものの、上記情報がなかったりルータ持ってなかったりしたら、もう1週間かかったことになる。というわけで、ドイツ社会は辛抱が必要だ。

解約手続き

帰国の迫った8月下旬、久しぶりに T-Punkt に足を運び、解約手続きを行なった。解約くらいはスムーズに行ないたいので、自分の住所と電話番号、Kundenummer(お客様番号)、解約したい契約「基本音声回線」「DSL」「プロバイダ」の3つをプリントアウトして用意した。前述のように、解約には6営業日かかるといわれていたので、帰国日より早めに行動してみた。解約時に注意するのは、身分証明となるパスポートか免許証を持参することだ。

T-Punkt の営業時間は、2005年8月現在、月-金が9:30-20:00、土曜が10:00-18:00となっている。しかし本当にここは待つので、開店時間ジャストに行くことを強くお勧めする。何人フロアに待っていようとも、彼らは急ぐでもなく、要員を増やすでもなく、淡々と仕事を進めていくのだから。(進んでいるのかどうかは別だが)

紙に書いた資料を持参したおかげで、当日の担当者の入力もスムーズに進んだ。解約申請書に住所と名前を書いて、署名をしておしまい。スプリッタやモデムは返さなくても良いということだった。後日、解約した旨の通知が郵送されるようだ。本当に届くのかちょっと心配ではある。

[[カールスルーエ滞在記 TOP](#)] [[Home](#)]